

公益財団法人日本ソフトテニス令和4年度臨時評議員会において
 質問のあった会員登録システムに関する事項の回答について

No.	質問内容	回 答
1	メールアドレスを申請しても返ってこない。返ってきてデータを移行しようとしても簡単にはできない。	すでに評議員会で回答済ですが、もっとも多いメールアドレス申請については回答まで5営業日以内に対応できる状況に改善しています。ログイン後のデータ移行については、難しい操作ではないため、マニュアルを参照ください。ご不明な点がある場合は事務局にお問い合わせください。
2	各団体管理者が作業を始めるかもしれない。その時に、7月当初に起こった、メール返信が2ヶ月かかったというような状況がまた起こらないのか。	1の回答と同様。すでに登録済みの団体も増えており、昨年の7月のような状態にはならないものと考えています。
3	各団体が3月までにデータ移行をしなかった場合、来年の3月、4月にどうなるのか。	旧システムから新システムのデータの移行は、年末までに終了することができました。新システムでまだログインしていない団体及びメールアドレスの登録をしていない団体については、年度内にログイン登録作業を済ませていただくと新年度もスムーズな登録が可能となるため、できるだけ今年度中に団体管理者の方のメールアドレスの登録やログインを済ませていただくことを推奨します。ただし、新年度に入ってからログイン登録しても令和5年度の登録作業は可能です。
4	令和5年度になったらすぐ大会が始まる。近畿選手権の申込は3月。その時に申込みがスムーズにできなかつたら、どう対応するのか。	大会エントリーシステムの操作方法については、マニュアルの公開を2月1日に予定し、2月19日に説明会の開催を予定しています。
5	現在の旧システムでの大会申込、それはいつまで使えるのか。	令和5年3月末までを予定しています。
6	システムに経費がかからないといっても、会員が減ったら2,000万円から3,000万円の損失になる。システムの費用が安くなっても会費が入ってこないということも有り得る。	ご指摘のとおりです。ここ数年の新型コロナウイルスの影響や少子化の影響による中高生を中心とした競技人口の減少も大きいため、今回の新システムでは、愛好者やファン層を取り込むことができる形式を採用したところ です。新たな会員獲得に繋がるような新たなコンテンツについても費用対効果を考慮しながら検討していきます。
7	日本連盟が新しいシステムにしたから我々がもう一回登録しなおさなければならないのかと思う。それがスムーズにできるのならいいが、それがなかなかできない。	システムの取り扱いに関する説明が不足していたことが要因であり、丁寧に対応していきたいと思えます。なお、旧システムにおいて団体管理者が生年月日やフリガナを誤って登録したままにしていたと思われるもの、同一人物の重複登録などが散見されており、うまく検索ができない要因にもなっていました。この機会に正しい情報に修正をお願いします。

8	システムの信頼性について、指導者を検索したら、他府県の指導者が、また、一般検索で中高生が出てくることがある。	<p>① 移行した旧データの登録情報の誤り ② 移行作業にタイムラグが生じたことにより移行期間中に発生している新規登録・変更登録・削除等影響したデータベース上の問題 ③ 旧データの移行作業における不具合の修正漏れ</p> <p>以上の要因が重なったことによる。 誤りを発見したものは適宜修正をしています。</p>
9	大会申込システムは、新しくなったらどう設定したらいいのか教えてもらわないとわからない。	4の回答に同じ。
10	今までは入金にならなければ申込にならなかったが、大会申込と参加料との照合の作業が大変なことになっている。	今後、新システムで行えば解消できます。新システムがスムーズに活用できるようマニュアルの公開を2月1日に、説明会は2月19日に開催予定です。
11	電子チケットができると聞いているが、具体的にどういうことができるのか。	本システムを利用している他の競技団体でもすでに運用されているため、具体的に「申込・料金徴収など」どのようなところまで対応可能か確認中です。
12	コスト面について、2億円弱の会員登録料収入に対し、30%も費用に取られるということ自体が信じられない。	現在、システム利用料の減額について、DNPと再交渉をしており、回答待ちの状況にあります。
13	電子チケット機能、個人ランキングの表示は、30何万人という会員にとって必要なのか。	当連盟は中高生の会員比率が高いため、全会員に「今必要か」と言われればその利用は少ないと思います。しかし、旧態依然のままでは、少子化の影響により、会員の減少は避けられないと考えています。数年先を見据え、活用できる機能・コンテンツを追加検討し、早い段階でファン層を取り込むための動きは重要だと考えています。
14	移行についてDNPへの疑問として、システム屋のDNPが噛んでいながら移行したらスペースが入っているから移行できなかった。はいかがなものか	DNPには、個人情報の取り扱いをさせないこととしていたため、事務局で移行作業を行いました。登録側の情報に誤りが散見され、そのほかの作業も重なり、確認作業にも遅れが生じてしまいました。データ移行作業も含めて契約することも可能ではありましたが、もとデータが正確であるかどうかは、団体管理者や登録者本人でなければ分からないこともあり、結果として各団体にお手数をおかけすることになってしまいました。
15	移行作業についてなぜ管理者が紐づけ作業をやらないといけないのか。	事務局では、マスターデータを触ることができなかったことや団体管理者情報が最新情報に更新されているかどうかは、団体管理者と本人にしか判らないことからです。
16	検証作業について、記号など文字以外のものが入っていたから移行できなかったとあるが、この検証作業というのはいったい何をやっていたのか。	移行するためのデータの検証です。旧データベースからデータを吐き出し、そのデータ内に不備がないかを確認（レコード数や列数など）。その後移行用データを作成し、移行前データと誤差が無いかを確認し、アップロードのうえ、レコード数に相違が無いかの確認作業等を行っていました。

17	<p>移行作業の費用について、個々の団体管理者が、例えば3時間その作業に取られたとすると1億円超える。それを、最初からやらせなければいけないと、それを想定していたのか。</p>	<p>想定はしていませんでした。事前のアナウンス不足とシステム操作方法の説明不足があったことと考えています。</p>
18	<p>システムのバージョンアップにかかる費用について、ベンダーはバラ色のことをユーザーに言います。これが本当にソフトテニス連盟として必要なのかそれをしっかり考えないと、無尽蔵に金を取られることになる</p>	<p>ご指摘の件については、理解しています。費用対効果も含め精査していきたいと考えています。</p>
19	<p>事業報告書に、会員登録システムを更新しますということが何も書かれていないが、理事会の中では年間いくら払っているかわかっているのか。</p>	<p>決算内容については理事会・評議員会で議決されておりますので、ご理解をいただいているものと考えます。 また、令和2年度事業報告書には、システムの検討をしている旨、記載しています。運用開始は令和4年度なので、その事業報告書は、次の評議員会で報告される内容になります。</p>
20	<p>今回のシステムは、随意契約です。いろいろなデータの要件を聞いて費用も聞いてやられている、日本連盟としてはこういうことをやりたい、これについて要件書を作って、提案書をもらってということはやっているのか。それがなかったらこれはすごい加減だと思う。</p>	<p>ご指摘のとおり、随意契約となります。旧システムの機能+新機能の部分については、事業者側に提案をいただき、必要なものを連盟側が選択したものです。 今後の契約の在り方については、見直しを検討します。</p>

新会員登録システムに関する追加説明

以下については、前段の質疑応答に記載の内容と一部重複いたしますが、データの移行作業の表現に関する捉え方に誤解が生じていると思われることから移行作業と紐づけについてあらためて下記に記載しておりますので、ご確認をお願いします。

1. 旧会員登録システム(以下、旧システムという。)の会員データベースについては、日連事務局において新会員登録システム(以下、新システムという。)への移行作業を終えています。

ただし、審判と技術等級については、令和4年度内にデータを反映させる予定です。ご不便をおかけいたしますが、いましばらくお待ちいただきますようお願いいたします。

2. 各登録団体に行っていただく作業は、新システムにログインをしていただき、加盟する団体に個人を紐づけさせる作業です。

3. 旧システムで令和4年度の会員登録が済んでいる会員は、令和5年度に入ってから新システムにおいて、紐づけと会員登録をしていただいても構いません。旧システムで令和4年度の会員登録をしていない会員は、今年度内に新システムにおいて、会員登録をいただく必要があります。

4. 旧システムで会員登録が済んでいる団体であっても、新システムで団体管理者の登録済んでいない場合は、新年度にスムーズに会員登録を進めるためには、今年度中にメールアドレスの登録作業を終了させ、ログインができることを確認し、管理者情報等の登録作業を終わらせておくことを推奨しています。

5. 新システムにおいて、旧会員登録システムの会員登録者を検索しても、会員が出てこない、旧所属加盟団体(都道府県、市町村等)が異なっているというケースなどが一部発生しています。

これらは、新システムに問題があるわけではなく、移行した旧会員登録情報の誤りや、移行作業にタイムラグが生じたこと(移行期間中に発生している新規登録、変更登録、削除等)によるデータ移動の発生、事務局で行った旧会員登録データベースの移行作業における不具合の修正漏れなどが重なったことにより、検索内容と旧データの情報が一致していないことが要因と思われます。

現在も移行後のデータを点検するなかで、誤りを発見したものは、適宜修正をし、お問い合わせのいただいたものは、並行して対応しております。

検索しても会員が出てこないなどのケースは、元データに誤りがある場合が多いため、事務局にお問い合わせいただければ、引き続き対応してまいります。

なお、旧所属加盟団体(都道府県、市町村等)が一致していないケースについては、新システムで会員登録が終われば、令和5年度には正しくなりますので、これにより何か問題が生じることはありません。